

NPO 市民団体と学生との交流会 第4弾

能登半島地震 支援活動を考える

～東日本大震災の経験は活かされているか～



ゲスト：結城健司さん

復興ボランティア支援センターやまがた (山形市松山三丁目 / <http://kizuna.yamagata1.jp/>)

7月12日(金)5コマ目(16時20分～17時50分) 人文社会科学部102教室

今年には元日に能登半島地震が起き、住宅の倒壊や道路の寸断など大きな被害をもたらしました。その後はインフラの復旧は進んでいるものの、住民の避難が続き、支援活動は思うように進んでいないのが現状です。避難者への生活支援の必要性や他県への避難など、東日本大震災と同じような状況も見受けられます。あの時の経験が活かされているのか、今回の交流会では現場で支援活動をしてい

る方々からのレポートを元に考えます。

(上記写真はいずれも珠洲市にて。ウェザーハート災害福祉事務所・千川原氏提供)

なお本交流会は人文社会科学部の講義「公共政策・地域課題実践演習A2」の一環としておこなうものですが、未履修の方、他学部の方、教員の方も大歓迎です。

担当教員：松本邦彦、柿崎慎也(人文社会科学部 電話 023-628-4250【松本】)